



栢田小だより

八王子市立栢田小学校長 平田 英一郎
(ホームページ) <https://hachioji-school.ed.jp/kngde/>

1 年を振り返る。そして、一年の計は元旦にあり

校長 平田 英一郎

年末となりました。1年間を振り返る時期です。

今年一年は皆様にとってどんな一年だったでしょうか。

栢田小としては、5年生の移動教室の宿泊先を長野県から市内に変えたり、2・3学期の始業式に給食を行い年間の給食回数を増やしたり、掃除を毎日から隔日にして放課後の充実を図ったりしました。放課後子ども教室を原則毎日開催することとしたり、夏休みも昼食提供と共に実施したりもしました。現状を踏まえメリット・デメリットの両方を良く勘案し、その時のベストを目指してきました。賛否両論あることは間違いないですし、まだまだできることもあると思います。ご意見をいただいて、保護者・地域の皆様と共に、今まで以上にベストな教育をこれからも目指していきたいと思っています。

個人的には、7月に大きな手術(頸椎症性脊髄症)を行いました。元の状況に少しでも近づけようとがんばった年となりました。

今まだリハビリの真っ最中ですが、指先にしびれが残リボタンかけに時間がかかったり、足がスムーズに出なかったりと、体育科専攻の平田にとって運動が思うようにできない今の状況はQOL(生活の質)の著しい低下を招いています。やる気を失っていた時期もありました。栢田小の子どもたちに「一步踏み出そう!」「チャレンジしてみよう!」と言っている自分のテンションが下がったままでは仕方ないぞと思う日々が続きました。

そんなある日、メールで青梅マラソンの参加者募集の案内が届きました。平田の初任校は青梅市内の小学校で、体育部所属の先生方は全員青梅マラソンに出場していました。「簡単ではないが、ちょっとがんばればできる目標をもって一步踏み出そう」と出場を決意しました。

手術後栢田小に戻ってきた頃には20分すら歩けなかったのが7月末には45分間歩けるようになりました。夏休み中には休み休み走れるようになりました。まだ左手は思うように動かずしっかり振ることはできませんが、つい最近、60分間走り通せるようにもなりました。1キロを7分で走る今のペースだと関門(一定時間で道路の通行止めが解除されます)の4時間は何とかクリアできそうですが3時間30分間も走り続けられないといけません。でも明確な目標ができ挑戦する気持ちが再びよみがえってきました。

大人は、自分ではできないことも子どもに要求していいと思っています。そうしないと大人(自分)以上の子どもを育てられないからです。でも、自分も頑張って「一步踏み出す」姿を、できれば見せたいと思っています。



来年は午(うま)年。そして60年に一度回ってくる丙午(ひのえうま)の年となります。「情熱的で強い意志をもちながらも、激しさや変化を伴う」といった意味合いをもつ年だそうです。「一年の計は元旦にあり」とよく言われます。そんな丙午の年の始まりを、旧年を振り返り、明確な目標を立て、スタートするきっかけにこのお正月休みがなったとしたら素敵ではないでしょうか。

今年も一年、お世話になりました。そしてどうぞよい年をお迎えください。

【SNS 等を通じたトラブルの防止】

長期休業中はふだんと比べて時間もあることから、スマートフォン等を使用する時間も増え、それに伴ってSNSを通じたトラブルも起こってしまう（巻き込まれてしまう）かもしれません。これらの状況はなかなか大人が把握しにくい側面があります。

『保護者が気付いていないところで、児童・生徒がインターネット上の違法・有害情報にアクセスしている』

このような認識のもと、お子様のSNS等の利用状況を見守るとともに、ご家庭でしっかりと約束や使い方を決めて、トラブルや事件に発展することのないようにお願いします。

万が一何かあれば、問題によっては速やかに警察に相談するとともに、学校までお知らせください。